

遺品が語る沖縄戦



国吉勇応援会
関東初の展示会！



▲
国吉勇応援会公式 FB も
ご確認ください！

沖縄戦遺骨収容国吉勇応援会が制作した展示会の巡回展です。すでに関西地方中心に開かれています。東京では初めての展示会になります。

沖縄戦では、日本軍は持久戦が始まると、民間人を壕から追い出し、食糧を奪い、最悪の場合、強制集団死に追い込みました。国吉勇氏が収容した遺品は、壕が住民の居住する場所であり、そこを日本軍が軍事化したこと、さらにアメリカ軍が無差別に襲ったことを語りかけています。

東京が大規模な焼夷弾空襲を受けた戦争末期。沖縄では何が起きていたのか。巡回展を通じて、東京の地でそれを学び、考えてみませんか？

会 期 **6月23日(日)~7月21日(日)**

★7月20日・21日はイベントを開催（※裏面参照）

会 場 **東京大空襲・戦災資料センター 1階** ※アクセスは裏面

時 間 **12時~16時**（月曜・火曜は休館）

入場料 **センター入館料のみ**（一般 300円、中高生 200円、小学生以下無料）

イベント案内

会期おわりの土曜・日曜、2日間にわたって、戦争の体験・歴史の「継承」をテーマとしたパネルディスカッションを開催します！！

7月20日(土) 16:00~18:00

テーマ：「戦争非体験世代による戦争体験継承の方途と課題」

パネラー：伊藤かおる氏 (TRECKTRECK 代表)

岡村幸宣氏 (丸木美術館学芸員)

早川則男氏 (中村高等学校、地理歴史・公民科教員)

7月21日(日) 14:00~16:30

テーマ：「沖縄問題の当事者としての本土とその責任」

パネラー：米須清真氏 (小金井市で「新しい提案」に基づく請願運動を実現)

高橋哲哉氏 (東大教授、哲学)

柳川たづ江氏 (父の沖縄戦体験の語り継ぎに取り組む女性)



★コーディネーターは2日とも西尾慧吾さん(沖縄戦遺骨収容国吉勇応援会 学生共同代表、Yale 大学)

戦争が終わって74年が経とうとする現在、関東では戦争や空襲を「継承」するためにどのような取り組みがなされているのか、戦争非体験世代によるその取り組みにはどのような可能性や課題があるのか。さらに、沖縄戦についても、語り継ぎの実演を交えつつ、「当事者性」という問題も見据えて、沖縄戦の「継承」に向けた課題と展望を考えます。それぞれのフィールドで「継承」に向き合う6人がパネラーとして登場します。

ぜひご参加ください！！ (会場はセンター、参加費は入場料のみ)

お問合せ先・アクセス

東京大空襲・戦災資料センター

江東区北砂1丁目5-4

☎03-5857-5631

<http://www.tokyo-sensai.net/>

開館日：水～日曜日 12時～16時 (月・火は定休)

入館料：

一般 300円 中・高校生 200円 小学生以下 無料

アクセス ※下記以外のアクセス方法はウェブでご確認下さい

- ▷ JR「秋葉原駅」中央改札口を出て2番バス乗り場から都バス《葛西駅行》(秋26)で35分、「北砂1丁目」下車2分
- ▷ 都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」B1出口から徒歩20分

* 錦糸町や東陽町からタクシーをご利用の場合は、「清洲橋通りの岩井橋東詰交差点を左折、岩井橋クリニックの隣」とお伝えください。

* 駐車場はありません(障がい者用駐車場のみ1台分あり)

